

Small Voice ^{ほそきこえ} 細き聲 聖書研究

大いなる強き風山を裂き岩石を砕きしが風の中にはエホバ在さざりき、風の後に地震ありしが地震の中にはエホバ在さざりき。又地震の後に火ありしが、火の中にはエホバ在さざりき、火の後に静なる細微き声ありき。

列王記略上19:11、12 明治元訳聖書

日本学生宣教会

創世記
1章4節

† 聖書区分

第一部 世界と人間の創造 Gen. 1:1~11:26

一 世界の創造 Gen. 1:1~24

1 宇宙の創造 Gen. 1:1~2

2 創造の経緯 Gen. 1:3~2:4

a 第一日 Gen. 1:3~5

1:3 神は「光あれ」と言われた。すると光があった。 1:4 神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。 1:5 神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である。 口語訳聖書

† 日本語訳聖書 Gen. 1:4

【漢訳聖書】

Gen. 1:4 上帝視光爲善、遂判光暗。

【明治元訳】

Gen.1:4 神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり

【口語訳】

Gen. 1:4 神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。

【新改訳改訂3】

Gen. 1:4 神は光を見て良しとされた。神は光とやみとを区別された。

【新共同訳】

Gen. 1:4 神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、

【バルバロ訳】

Gen.1:4 神は光をよしと思われ、光とやみを分けられた。

【フランシスコ会訳】

Gen.1:4 神は光と闇とを分けて、

【詳訳聖書】

Gen.1:4 And God saw the light, that it was good — suitable, pleasing — and He approved it; and God

separated the light from the darkness.

神が光をご覧になると、それははなはだ良<適切で、心地よい>かった、そして〔神は〕それをよしと認められた；そして神は光を闇から区別された。

† 聖書引照 Gen. 1:4

Gen.1:4 神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり

[神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり] II コリ 4:6

[神光を善と観たまへり] 創世 1:10,12,18,25,31; 伝道 2:13; 11:7; イザ 58:10

[神光と暗を分ちたまへり] イザ 45:7 詩篇 139:11~12

† ヘブライ語聖書 Interlinear

Gen 1:4

וַיֵּרָא אֱלֹהִים אֶת־הָאֹר כִּי־טוֹב וַיַּבְדֵּל אֱלֹהִים בֵּין הָאֹר וּבֵין הַחֹשֶׁק׃
wayyars' 'elohim 'et-hā'wōr kī-twōb wayyabādēl 'elohim bēn hā'wōr ūbēn h'ḥōšekə:

וַיַּבְדֵּל	כִּי־טוֹב	אֶת־הָאֹר	אֱלֹהִים	וַיֵּרָא
way-yab-dēl	kī-tō-wb;	'et-hā-'ō-wr	'ē-lō-him	way-yar
and divided	that it was good	the light	God	and saw
הַחֹשֶׁק׃	וּבֵין	הָאֹר	בֵּין	אֱלֹהִים
ha-ḥō-šek.	ū-bēn	hā-'ō-wr	bēn	'ē-lō-him,
the darkness	and between	the light	a space between	God

† ヘブライ語聖書 品詞色分け

Gen 1:4

וַיֵּרָא אֱלֹהִים אֶת־הָאֹר כִּי־טוֹב וַיַּבְדֵּל אֱלֹהִים בֵּין הָאֹר וּבֵין הַחֹשֶׁק׃

† LXX Interlinear

Gen.1:3 και εἶδεν ὁ θεὸς τὸ φῶς ὅτι καλόν και διεχώρισεν ὁ θεὸς ἀνά μέσον τοῦ φωτὸς και ἀνά μέσον τοῦ σκότους

And God saw the light that it was good, and God divided between the light and the darkness.

και	εἶδεν	ὁ θεὸς	τὸ φῶς	ὅτι	καλόν			
And	saw	God	the light	that	it was good,			
και	διεχώρισεν	ὁ θεὸς	ἀνά μέσον	τοῦ φωτὸς	και	ἀνά μέσον	τοῦ σκότους	
and	divided	God	between	the light	and	between	the darkness.	

† LXX 品詞色分け

Gen. 1:4

καὶ εἶδεν ὁ θεὸς τὸ φῶς ὅτι καλόν καὶ διεχώρισεν ὁ θεὸς ἀνὰ μέσον τοῦ φωτὸς καὶ ἀνὰ μέσον τοῦ σκότους

† F・Josephus Antiquitates Judaicae

[28] καὶ γενομένου τούτου κατανοήσας τὴν ὅλην ὕλην διεχώρισε τὸ τε φῶς καὶ τὸ σκότος and when that was and when that was made, he considered the whole mass, and separated the light and the darkness;そしてそれらが造られると、神はそれらの全体を調べ<考慮し>、光と暗闇を分離された<分けられた>。

† ラテン語聖書 Interlinear

Latin Vulgate

Gen. 1:4

Et vidit Deus lucem quod esset bona: et divisit lucem a tenebris.

And God saw the light, that it was good; and so he divided the light from the darknesses.

Et	vidit	Deus	lucem	quod	esset	bona:
And	saw	God	the light,	that	it was	good;

et	divisit	lucem	a	tenebris.
and	so he divided	the light	from	the darknesses.

† 私訳（詳訳） Gen. 1:4

【私訳】 「神は光を見て<注意深く調べ見て>、よし<美しい、好ましい>とされた。神は光と闇<暗黒、暗闇>を分け<区別し、隔て>られた」

† 英語訳聖書 Gen. 1:4

King James Version

1:4 And God saw the light, that it was good: and God divided the light from the darkness.

New King James Version

1:4 And God saw the light, that it was good; and God divided the light from the darkness.

American Standard Version

1:4 And God saw the light, that it was good: and God divided the light from the darkness.

Today's English Version

1:4 God was pleased with what he saw. Then he separated the light from the darkness,

Bible in Basic English

1:4 And God, looking on the light, saw that it was good: and God made a division between the light and the dark,

Darby's English Translation

1:4 And God saw the light that it was good; and God divided between the light and the darkness.

Douay Rheims Bible

1:4 And God saw the light that it was good; and he divided the light from the darkness.

Noah Webster Bible

1:4 And God saw the light, that it was good: and God divided the light from the darkness.

World English Bible

1:4 God saw the light, and saw that it was good. God divided the light from the darkness.

Young's Literal Translation

1:4 And God seeth the light that it is good, and God separateth between the light and the darkness,

† 旧約聖書ヘブライ語語句研究

【神は】 אֱלֹהִים エロヒーム 'elohiyim {el-o-heem}' 普通名詞男複 @ncmpN [2602] <430>

- 1) 神、いと高き神
- 2) 神々
- 3) 主
- 4) 天使、御使い
- 5) 激しい、非常に、非常に大きい
- 6) 大いなる、卓越した、偉大な、力ある

「אֱלֹהִים エロヒーム」は複数形。語源は「אֵל エル」権力、権威を指す。

LXX

θεός てオス theos {theh'-os} 名詞

- 1) 神
- 2) 神性
- 3) 唯一の神

Latin Vulgate

Deus

- 1) 神
- 2) 神性

【光】 אֹרֶךְ オーレ 'ôr {ore} 普通名詞男女単 @ncbsN [120] <215>

- 1) 光、稲妻、輝く
 - 2) あげぼの、あける、夜明け、あらかわす
 - 3) 日、日光、日ざかり、白昼
 - 4) 顔の輝き
- ヨブ 36:30; 38:19; 詩篇 97:11; 104:2; 118:27; イザ 45:7; 60:19; ヨハ 1:5,9; 3:19; II コリ 4:6; エペ 5:8,14; I テモ 6:16; I ヨハ 1:5; 2:8

LXX

φῶς ふオース phōs {foce} 名詞

- 1) 光、発光体
- 2) あかり、火、灯火
- 3) 昼の光、日の出、光、発光体、天体
- 4) 眼の光、心、理性、理解力

Latin Vulgate

lux

- 1) 光
- 2) 輝き
- 3) 明かり
- 4) 生命

【を】 אֶת エツ 'eth 定目的語記号 目的格記号 @PoN [11873] <853>

【見て】

1 接続詞 @PcN [51275] <10012>

- 1) …と…
- 2) そして
- 3) すなわち
- 4) あるいは

רָאָה ラーアー ra'ah {raw-aw} 動詞 Qal 継続 waw 3 男単語尾消失 @vqw3msjN [1315] <7200>

- 1) 見る、見定める、見つめる
- 2) 分かる、認める
- 3) 理解する
- 4) 会う、味わう、うかがう
- 5) 思う、考える、ごらんになる

LXX

εἶδον ὁράω エイドン ホラオー eidon {i'-don}

1) 見る、～の方を見る、目で見ると 2) 感知する、知る、味わう、経験する、見て知る、洞察する、理解する、悟る、認める 3) 探す、考える、心に調べる、分かる、見つける、発見する 4) 注意する、心に調べる、探す 5) 面会する、訪問する、行く

Latin Vulgate

video

1) 見る、見える 2) 知覚する 3) 体験する 4) 注視する、眺める、観察する 5) 識別する、認識

【良しとされた】

כִּי キィ kîy {kee} 前置詞 @PpN [4488] <3588>

1) なぜな 2) ～なので 3) しかし 4) 確かに 5) ～以外 6) 本当に 7) たとえ～でも

טוֹב トーブ tob {tobe} 形容詞男単 @amsN [538] <2895>

1) 良い、好ましい、より良くなる 2) 楽しい。うれしくなる、幸せである 3) 愛する、慈愛 4) よい、美しい、立派な

(Hiphil) 1) 良くする 2) 正しく行動する 3) 善を行う

創世 1:4,31; 2:9,12,18; 3:6; 18:7; 40:16; 41:26; 49:15; 50:20; etc.

LXX

καλός カロス kalos {kal-os}

1) 良い、すぐれた、立派な 2) ふさわしい 3) 見事な、美しい、うるわしい、善い 4) 健全な 5) 尊敬すべき、正しい、立派な、価値ある 6) 潔白な、高潔な

「良い καλός カロス」は目的に叶うこと

Latin Vulgate

bonus

1) 善 2) 役に立つもの 3) 優れたもの

【神は】 אֱלֹהִים エローヒーム 'elohiym {el-o-heem}' 普通名詞男複 @ncmpN [2602] <430>

1) 神、いと高き神 2) 神々 3) 主 4) 天使、御使い 5) 激しい、非常に、非常に大きい 6) 大いなる、卓越した、偉大な、力ある

「אֱלֹהִים エロヒーム」は複数形。語源は「אֵל エル」権力、権威を指す。

LXX

θεός てオス theos {theh'-os} 名詞

1) 神 2) 神性 3) 唯一の神

Latin Vulgate

Deus

1) 神 2) 神性

【光】

בֵּין 前置詞 @PpN [409] <996>

1) の間 2) との間

כֹּה 冠詞 @PaN [24215] <10009>

אוֹר オーレ 'ôr {ore} 普通名詞男女単 @ncbsN [120] <215>

1) 光、稲妻、輝く 2) あけぼの、あける、夜明け、あらかわす 3) 日、日光、日ざかり、白昼 4) 顔の輝き

ヨブ 36:30; 38:19; 詩篇 97:11; 104:2; 118:27; イザ 45:7; 60:19; ヨハ 1:5,9; 3:19; II コリ 4:6; エペ 5:8,14; I テモ 6:16; I ヨハ 1:5; 2:8

LXX

φῶς ふオース phōs {foce} 名詞

1) 光、発光体 2) あかり、火、灯火 3) 昼の光、日の出、光、発光体、天体 4) 眼の光、

心、理性、理解力

Latin Vulgate

lux

1) 光、稲妻、輝く 2) あげぼの、あける、夜明け、あらわす 3) 日、日光、日ざかり、白昼 4) 顔の輝き

【と】 1 接続詞 @PcN [51275] <10012>

1) …と… 2) そして 3) すなわち 4) あるいは

【闇を】

𐤊𐤍 前置詞 @PpN [409] <996>

1) の間 2) との間

𐤍 冠詞 @PaN [24215] <10009>

𐤊𐤍𐤏 コーセク choshek {kho-shek} 普通名詞男単 @ncmsN [80] <2822>

1) 闇、暗黒、暗闇 2) 秘密の場所 3) 暗さ、晦い 4) 黄昏時、夜 5) (比喩的に) 悲惨、破壊、死、無知、悲しみ、邪悪

創世1:2,4,5,18; 出エ10:21,22, 14:20; 申命4:11; 5:23; ヨブ3:4; 5:14; 10:21; 12:22; 15:22 etc. 箴言2:13; 20:20 伝道2:13; 5:17; 6:4; 11:8; イザ5:20; 9:2; 29:18; 42:7; 45:3 etc.

LXX

σκοτος スコトス skotos {skot'os} 名詞

1) 暗いこと、闇、暗黒、闇の中 2) 秘密裏の、はっきりとわからない 3) 無知、欺瞞 4) 死後の刑罰の場所、死の暗黒、よみの闇 5) 罪

Latin Vulgate

tenebræ

1) 暗闇 2) 暗黒 3) 夜 4) 暗い場所 5) 牢獄

【分け】

1 接続詞 @PcN [51275] <10012>

1) …と… 2) そして 3) すなわち 4) あるいは

𐤊𐤁𐤌 バーダル baḏal {baw-dal} 動詞Hif 継続 waw3 男単語尾消失 @vhw3msjN [42] <914>

niph 1) 選ぶ、選ばれる 2) つく 3) 連なる 4) 離れる 5) 破門される 6) 分かたれる、分けられる

hiph 1) 選ぶ、選び出す 2) 切り離す 3) 分ける、区別する 4) 指定する 5) 引き離す 6) 分離する 7) 隔てる 8) 分かつ 9) 分ける

創世1:4,6,7,14,18; ネへ13:3 etc.

LXX

διέχω

1) 分かつ、離しておく、遠ざける 2) 貫く、達する、延びる、広がる

Latin Vulgate

divisus

1) 分けられた 2) 区別された

† 細き聲 聖書研究ノート

<神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり>

神は光をごらんになって、それを「良し」とされた。こうして、神は光と闇を分けられた。

<神光を善と観たまへり>

神が「光よ。あれ」と言われると「光」があった。神は「光」をご覧になって「よし」とされた。

「よし טוב トーブ」は「好ましく、美しい、良いもの」の意味である。
ギリシャ語の「良い καλός カロス」には「目的に叶う」ものをあらわす。ラテン語 bonus には「役に立つ」の意味がある。創られた光がその目的にかなない、有効に働くさまが表現されている。

「見て רָאָה ラーアー」は対象を「見る、見定める、見つめる」こと。

神は創られた「光」を注意深くご覧になり、「光よ。あれ」の言葉がそのまま存在となり、かつ創造の目的に合うことをお認めになって、「よし」とされた。

<神光と暗を分ちたまへり>

神の創造された「光」は、ただちに「光」と「闇」を分けた。

「区別」は天地創造の重要な役割をもっている。

「光と闇」 (創世1:4)

「大空の上の水と大空の下の水」 (創世1:7)

「昼と夜」 (創世1:14)

「太陽と月による光と闇」 (創世1:18)

† 心のデボーション

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書

「神は光を見て、よしとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「闇を照らす光」

天地創造における神のはじめの言葉は「光よ。あれ」である。神は「光」によって「光と闇」を分けられる。

「太初に言あり、言は神と偕にあり、言は神なりき。」

この言は太初に神とともに在り、

萬の物これに由りて成り、成りたる物の一つとして之によらで成りたるはなし。

之に生命あり、この生命は人の光なりき。

光は暗黒に照る、而して暗黒は之を悟らざりき」 ヨハネ1:1~5 大正文語訳聖書

「光」は「神のことば」であり「いのち」である。この「いのち」は闇を照らす「光」である。

† 心のデボーション

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書

「神は光を見て、よしとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「よきもの」

神が「光よ。あれ」と言われると光があった。神は光をご覧になり、それを「よし」とされた。

神は創造された世界に「よし」という意味を与えられる。

「光」は他の何ものと比較して「よし」とされたのではない。創造された「光」が神の口から出た「御言葉」と寸分違わず存在し、その働きが創造の目的に合うことを「よし」とされた。

神は人を創造された。人間の存在の「よし」は、他の人間と比較して認められるのではない。創造の目的にかなない、神のみことば通りの「私」として在ることが「よし」である。

人は「よきもの」として誕生し、意味とともに生きる存在である。

† 心のデボーション

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書
「神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「光と闇」

創造の第一日に「光」が創造される。

「光」は創造の力としてすべての業の初めに置かれる。

「闇」もまた神の創造である。「闇と光」は共に神の栄光をあらわす。

神の創造の始まるところに「光」ありて「闇」を照らす。

† 心のデボーション

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書
「神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「光のある間に」

主を仰ぐ者は「光を得」、その顔は「光り輝く」。(詩篇 34:5)

ですから、「あなたがたに光のある間に、光の子どもとなるために、光を信じなさい」。(ヨハネ 12:36)

† 心のデボーション

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書
「神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「光よあれ」

「ヤコブの家よきたれ 我儕エホバの光にあゆまん」 イザヤ 2:5 明治元訳聖書

イザヤは「さあ、主の光の中を歩もう」とヤコブの家に呼びかける。

どれほどの闇の中にも、神は「光よあれ」と語り給う。そして、どれほどの闇の中にも「光」はあり、光と闇は分かたれる。

† 心のデボーション

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書
「神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「神の光」

「光」は「いのち」を生む。この「光」は絆を生み出す力である。

「いのちの泉はあなたにあり、私たちは、あなたの光のうちに光を見るからです」 詩篇 36:9

† 心のデボーション

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書
「神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「神の創造」

人は神に「創られたもの」であり、そして「創られるもの」である。「生まれたもの」であり、また「生まれるもの」である。人は神の創造とともにあり、創造そのものであり、そして創造であり、よきものである。

† 細き聲 説教

「神はよしと見られた」

「神光を善と観たまへり神光と暗を分ちたまへり」 創世1:4 明治元訳聖書
「神は光を見て、よしとされた。神は光と闇を分け」 新共同訳聖書

「神は光をよしと見られた」(創世1:4) 新改訳聖書

神は創造の初めに光を創られる。神が「光よ。あれ」と仰せになると、光が存在した。ヘブライ語聖書ではこのところを「神が、『光がある』と仰せられた。すると光がある」と語る。ことばは神の口からでると、そのまま存在となる。神はそれをご覧になって「よし」と見られます。

創造の第一日に続いて、第二日には大空の上の水と大空の下の水が区別される。神が「ある」と仰せられる、すると「ある」。神はそれをご覧になって「よし」と見られる。これが創造の基本的なかたちとして、どの目にも繰り返される。

創造の第六日には人間が創造される。そして「神はお造りになったすてのものをご覧になった、見よ、それは非常に良かった」と記されている、(創世1:31)

1 よきもの

神が「ある」と仰せられたとき、地にはなにものも存在していなかった。したがって、神がそれをご覧になって「よし」とされたのは、すでに存在しているものと比較して「よし」と認められたのではない。神は御自身の「ある」という言葉通りにそれが存在したことをご覧になって「よし」とされたのである。

人は「よきもの」を求める。よき自分であろうとして、「本当の自分」を探す。それは多くの場合、今の自分は「本当の自分」ではないというところからの自分探しである。その時私たちの視線は自分を離れて人を見ている。自分と他を比較して「よきもの」を求めようとする。

「本当の自分」を自分の外に求める試みは決して成功しない。求めれば求めるほど、自分がわからなくなる。「本当の自分」は自分の外にあるのではないからである。

「私」の問題を存在のどこから始めるかというのは極めて重要である。聖書はこの問題に対して、人を創造の初めに導く。私たちはあらゆる存在の始まりの時点に「私とは何か」という問いが置かれるのを知るのである。

神は創造の初めに「あれ」と仰せられ、そして「私」が存在し、神はそれをご覧になり、「よし」と見られた。神が「よし」とされる「私」は、外に求めることによって得られるものではない。わたしが神のことば通りに創られて「ある」ことにある。神に創られた自分として、足すことも引くこともしないで、ありのままに存在することこそが、「本当の自分」である。神が「よし」とされたものを、「よし」として自分に受け入れることである。「よりよき自分」になるということは、「自分になる」ことに他ならない。

「私」とは、誕生の瞬間から、神によって創られ、「在る」にいたり、「よし」としてあり続ける実体である。独自に「よき存在」であって、他と比較することはできない。

それは宇宙のあらゆる存在と関わって在り、いのちをかたちづくる。

存在の初めにさかのぼって自分を認めることは、さらに、「自分」を神の創造の業の中におき、そこからの出発に人を導く。神の創造のみわざは、「私」という存在においていつまでも働き続けるのである。

2 神のはからい

「あなたはあなたであれ」という神のことばのままにあることは、私たちをしばしば「辛い現実」に向き合わせる。

信仰の父アブラハムは息子イサクを「全焼のいけにえとしてささげよ」といわれる神の言葉を聞く。(創世22:1~14)

それは受け入れ難い神の言葉であったが、アブラハムは出発する。いけにえの羊を連れて行かないことにいぶかるイサクにアブラハムは「神ご自身が全焼のいけにえの羊をそなえてくださる」と答える。

アブラハムはこの時、「神には人を死者の中からよみがえらせることもできる」と信じたのである。(ヘブル11:19)

アブラハムの信じたのは「創造の神」である。イサクをささげよといわれる神はイサクを死からよみがえらせてくださる(イサクを創造される)と信じたのである。アブラハムはイサクを神にささげる、まさにその瞬間にイサクを死から取り戻したのである。

ありのままの自分を認めることは、現実を力なくあきらめることではなく、きわめて創造的な行為である。いのちを求める神は、よりまされるいのちに復活(創造)される神である。「あなたであれ」といわれる神の言葉に、ありのままを受け入れるとき、私たちは自分という器の中に神の創造のみ業を見、よりよきいのちに近づく(創造される)のである。

(皆川誠)